

報告番号 1号
令和6年12月10日

根室市議会議長 田塚 不二男 様

会派名 大地
代表者名 遠藤 輝宣

政務活動報告書

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 北方領土対策活動 <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	北方領土返還要求中央アピール行動
期間	令和6年11月30日(土)～12月2日(月)
参加者氏名	遠藤 輝宣、富川 歩
応対者	北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会(会長 石垣 雅敏根室市長) 元島民や全国都道府県民会議など返還運動関係者ら総勢500人が参加
場所	日比谷公園音楽堂から鍛冶橋交差点付近1.6キロ区間 新宿駅西口地下広場イベントコーナー
行程	11月30日(土)根室市→根室中標津空港→羽田空港→麴町(ホテル・ルポール麴町) 12月1日(日)アピール行進、北方領土パネル展・根室管内物産展(新宿駅西口イベント広場) 12月2日(月)麴町(ホテル・ルポール麴町)→羽田空港→根室中標津空港→根室市
内容・成果	<p>北方領土返還要求中央アピール行動には、伊東良孝北方担当大臣や鳩山二郎内閣府副大臣、英利アルフィヤ外務大臣政務官、今井絵理子内閣府大臣政務官はじめ地元 の鈴木貴子、篠田奈保子両衆議、鈴木宗男参議、根室管内の町長、町議会議員、姉妹 都市の黒部市から武隈市長や市議団のほか、元島民や根室管内から約70人、さらに 東京根室会の関係者や全国の北方領土返還要求都道府県民会議など総勢500人が 参加した。</p> <p>出発式では、北隣協会長の石垣市長が「不法に占拠されてから79年が経過。国民 の関心が薄れることを懸念している。先達の思いを高く掲げ、熱い思いを発信しよ う」と訴えた。伊東担当大臣、鳩山内閣府副大臣らが参加者を激励したあと、元島民 を代表して国後島出身の古林貞夫さん(86歳)が「望郷の念かなわず他界した多く の墓前に吉報を届けるその日まで、無念の思いを希望に変え、早期解決に向け力強く 行進する」と決意を表明。このあと、羅臼町の湊屋稔町長の号令の下、日比谷公園音 楽堂前を出発。ゴールの鍛冶橋交差点までの1.6キロを行進した。</p> <p>47都道府県の総意を示す都道府県旗を掲げながら「北方領土を返せ!」「北方領 土交渉を再開しよう!」「北方墓参を早期に再開しよう!」など声を張り上げ、早期 返還の願いを訴えた。また、新宿駅西口地下広場で開かれた「北方領土パネル展・根</p>

室管内物産展」を視察し、出店者やパネル展で領土問題を啓発するスタッフらを激励した。

ロシアのウクライナ侵攻で平和条約交渉が中断し、領土問題が置き去りにされ、国民の関心が薄まることが懸念される。加えて元島民の高齢化も進み、返還運動自体が大きな変革期に来ている懸念を拭い去れない。

この啓発活動は、戦後間もない昭和20年12月1日に当時の安藤石典根室町長が、連合軍総司令部（GHQ）のマッカーサー元帥に「北方領土を米軍の占領下に置いてほしい」との陳情書を提出したことにちなみ開催しているが、令和7年度には、20回目の節目を迎え、これまでスタート地点としてきた日比谷公会堂の取り壊しのため実施場所の変更を余儀なくされることから、仕切り直しが予想され、これを機に中央アピール行動は堅持しつつ、開催手法などを見直ことも必要と感じた。



また、姉妹都市である黒部市の市議や返還運動関係者、さらに元島民、後継者らと交流。絆を深めるとともに、今後の返還運動の在り方などについて意見交換出来て有意義な交流になった。願わくは、根室管内の町議らにも参加願えれば一層よくなるのではないかと感じた。